

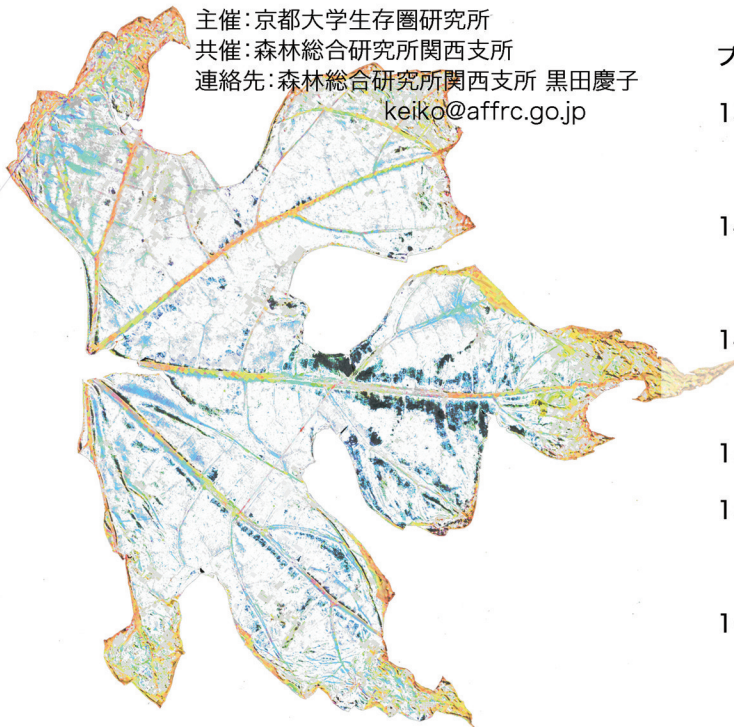
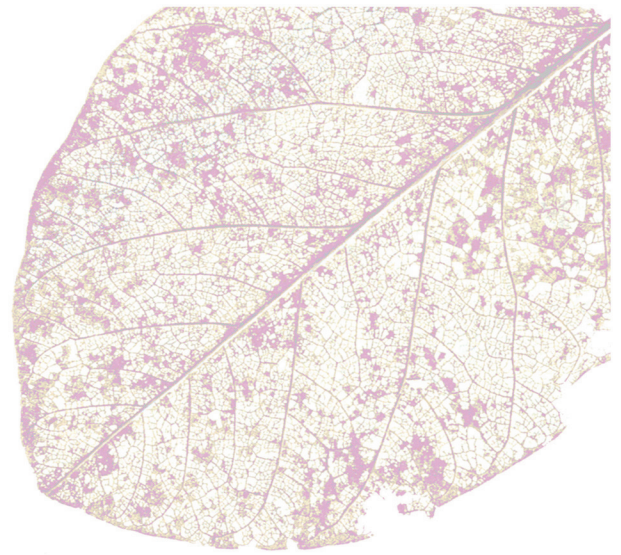
# 『第79回生存圏シンポジウム』

## 一樹木の健康を診断する一

日時 平成19年11月8日(木) 13:30~17:00  
会場 京都大学 宇治キャンパス 木質ホール 3F  
構内の工事のため正門が利用できません。  
このページ最後の案内図をご覧ください。

申し込み不要、入場無料

樹木は一見健全に見えていても、生理的活性が低下していると、微生物・昆虫の加害、気象変動などの影響を強く受けます。近年、里山の二次林や人工林の多くが放置され、ナラ・カシの集団枯死など病虫害が増加しています。森林圏の環境と資源を維持するために何が必要か、考えてみませんか？



主催: 京大大学生存圏研究所  
共催: 森林総合研究所関西支所  
連絡先: 森林総合研究所関西支所 黒田慶子  
keiko@affrc.go.jp

### プログラム

- 13:30-14:10 「マツの抵抗力を遺伝子で探る」  
—材線虫病に対する抵抗力の分子診断—  
黒田宏之(京大大学生存圏研究所 講師)
- 14:10-14:50 「ヒトの健康と病気をペプチドで診断する」  
—個別化医療時代(2020年)の新規基盤技術の確立にむけて—  
田中憲次(株式会社プロトセラ 代表取締役社長)
- 14:50-15:30 「植物の免疫反応を光で測る」  
—抵抗性品種の選抜や植物の健康診断技術への応用を目指して—  
牧野孝宏(光産業創成大学院大学 特任教授)
- 15:30-15:40 休憩
- 15:40-16:20 「養菌性キクイムシの行動と樹木の健康」  
—微生物との巧妙な連携—  
衣浦晴生(森林総合研究所関西支所主任研究員)
- 16:20-17:00 「病原体の侵入に対する樹木組織の反応」  
—発病の兆しを検出する—  
黒田慶子(森林総合研究所関西支所グループ長)

### 京大大学生存圏研究所 木質ホールまでのルート

